

## 食の町民まつりで 「金のいぶき」をPR

今年で第10回目を迎える「わくや発食の町民まつり」が、2月3日（土）午前11時から、わくや天平の湯と世代館で18団体が参加して開催される。



地域で生産された農産物を地域で消費する「地産地消」を推進し、生産者の顔が見え、話しができる関係を築き、相互理解を深めることを目的としている。

地元の食材を使った料理の試食や抽選会などを行い、食を通じて涌谷町を感じてもらえるイベントとなっている。

涌谷町農業委員会でも、町で力を入れている品種「金のいぶき」を使ったメニューを提供し、PRを行う予定だ。

「金のいぶき」は、通常の玄米と比較して、特にGABAとビタミンEの含有が多い機能性米で注目を集めている。

天平時代（749年）に日本で最初に採れた金を奈良東大寺に献納したことが縁で、昨年は金のいぶきを献納するなど、町おこしの役割を担っており今後が期待される品種である。

